

東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

学部入学案内
パンフレット 2020

詳細情報はWebサイトへ

受験生ナビ Hello! TUFS

<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/>



卒業までに身につく

5つの力

- 1 高度な言語運用能力
- 2 日本や世界諸地域についての知識・教養
- 3 現代社会を生きる力
- 4 専門的な知識
- 5 主体的に考え、行動し、発信する力

東京外国語大学は、高度な言語運用能力と地球社会化時代を生きるために必要な基礎的教養、専門知識を身につけ、国内外における言語間・文化間の架け橋となり、新たな価値観の創成に寄与する人材を養成します。



世界教養プログラム

詳細はWebへ <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/education/glap.html>

グローバル時代を生きるための言語運用能力と教養を身につける3学部共通のプログラム

東京外国語大学では、いずれの学部に入学者も、まずは「世界教養プログラム」を履修して、専攻する言語とグローバル化時代に一市民・一職業人として生きる上で必要となる基礎的な教養を身につけていきます。

世界教養プログラムで受ける授業には、入学時に選択した言語・地域に応じた「地域言語科目」「地域基礎科目」、基礎学力を養う「基礎リテラシー」「基礎演習」、地球社会に生きる一市民としての教養を身につける「世界教養科目*」、言語を学ぶ「GLIP英語科目」「教養外国語科目」などがあります。

*世界教養科目とは……知性と教養を磨く科目を多く用意し、理系科目も豊富です。英語で行われる授業も多数あります。

【世界教養科目の授業科目群】

市民社会と協働／国際社会と地域／多文化社会／キャリアのための経営学／教養としての言語学／教養としての統計学／歴史学（日本史／世界史）／哲学／憲法／こころの科学／文化と芸術／情報技法／健康と医療／環境と科学／日本の現在を知る／日本の言語を知る／日本語を教える／日本の文学と文化を知る／歴史の中の日本を知る／キャリアデザイン論／就業体験／社会協働／短期海外留学／スタディツアー ほか



英語教育

詳細はWebへ <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/education/english.html>

グローバルに通用する英語力を身につける

すべての学生に向けて用意されているのが、GLIP（グローバル人材育成言語教育プログラム）英語科目です。ここでは高校レベルの英語を、学術研究やビジネス界で通用するレベルまでステップアップさせることを目標に、段階的に学んでいきます。留学、就職、大学院進学など各自の目的や専門に合わせて、柔軟な履修が可能です。英語を専攻言語としない学生も、GLIP英語科目により高い英語力を身につけることができます。

英語力を伸ばすためのさまざまな仕組み

英語を学ぶ授業以外にも、英語で学ぶ授業、英語学習支援センター（ELC）での英語学習のサポートや、留学生との共学・交流など、英語力を伸ばすためのさまざまな仕組みを用意しています。世界共通のコミュニケーション言語である英語の能力も高めます。





留学制度

詳細はWebへ <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/support/studyabroad/>

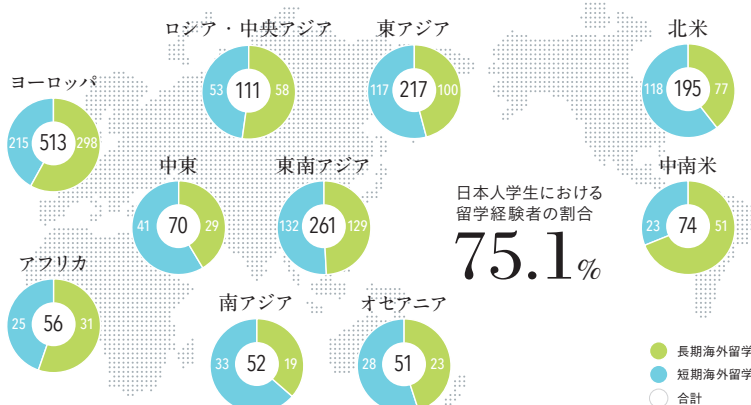
世界に広がる学びの舞台

2019年3月に卒業する日本人学生のうち75.1%が、在学中に留学を経験しました。2018年度の第1年次のうち52%（計417人）が短期海外留学をし、第3年次に在籍する学生の62%（計595人）が長期海外留学をしています。

「世界がキャンパス」のネットワーク

語学を体で学び、文化や歴史を習得するには、その土地に行くことが何よりの早道です。「世界」を学ぶ東京外国語大学の学生にとって、留学は必須アイテム。本学は、世界約70カ国・地域にある165の大学と学生交流のための協定を結び、長期の交換留学プログラムを実現しています。

DATA 海外留学生数（2018年度）



新たな景色・文化に遭遇する機会

夏学期や冬学期には本学協定校が行うサマープログラム、スプリングプログラムに参加し、短期海外留学に行く学生も多くいます。留学は、日本で

あたりまえだと思っていたことが必ずしも通用しないということを直に体験できる貴重な機会です。新たな出来事や景色、文化、習慣の違いに日々遭遇していくことで、自分の視野を広げることができます。



キャリア支援、就職

詳細はWebへ <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/support/job.html>

社会で活躍する力を持って卒業する

社会にでると、自ら考え行動する主体性や他者とのコミュニケーション力などが試される機会が多くなります。大学での学びや過ごし方は大変重要です。人生をどのように設計し、どのように切り拓くかは自分次第で無限の広がりを見せます。

本学では学生一人ひとりが自立した社会人・職業人（プロ）として、生きがいと働きがいに満ちた人生を送れるよう自らの人生を設計し、主体的な進路選択、職業選択を行うことを支援します。こうした取り組みが評価され、『本当の「就業力」が育つ大学』（日経HR、2013年）他で3年連続総合1位に選ばれました。

キャリアサポート

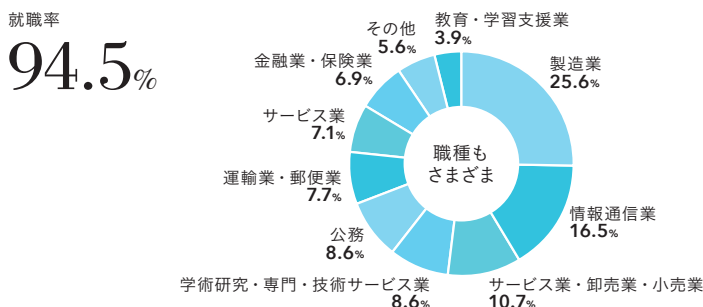
進路・職業選択を支援するため、本学では「グローバル・キャリア・センター」を設置しています。各種ガイダンスやセミナーを開催するだけでなく、専任のキャリア・アドバイザーによる個別面談を実施するなど、学生一人ひとりが納得のいく進路決定ができるようサポートしています。また、同センターでは国内外における多くのインターンシップを実施しています。

PICK UP 授業 キャリアデザイン論

国境を越えて活躍している本学卒業生を講師として招くりレー講義、一流企業経営者や起業家によるりレー講義・演習、大手新聞社、航空会社、IT企業などによる講義など、第1年次から卒業後の職業選択について考え、キャリアに関する理論を学ぶことができる科目を多数用意しています。

DATA

就職率／就職先業種別グラフ
(言語文化学部・国際社会学部 2018年3月卒業生)



主な就職先（過去5年）

外務省、防衛省、東京都庁、(独)日本貿易振興機構(JETRO)、日本放送協会(NHK)、(株)朝日新聞社、(株)日本経済新聞社、(社)共同通信社、Google、楽天(株)、三菱商事(株)、住友商事(株)、丸紅(株)、伊藤忠商事(株)、全日本空輸(株)、日本航空(株)、日本通運(株)、トヨタ自動車(株)、スズキ(株)、パナソニック(株)、三菱電機(株)、ダイキン工業(株)、富士フイルム(株)、(株)三井住友銀行、(株)三菱UFJ銀行、(株)みずほフィナンシャルグループ、大和証券(株)、アクセンチュア(株) など

世界へ！ 3つの学部での学び

世界の言語・文化を学びたい

言語文化学部 言語文化学科

- 地域コース
- 超域コース

募集単位
言語

多様な言語と文化を深く学び、
世界の架け橋となる

世界の地域・社会を学びたい

国際社会学部 国際社会学科

- 地域社会研究コース
- 現代世界論コース
- 国際関係コース

募集単位
地域

グローバルな視点で問題を考え、
解決できる実践的な能力を備える

世界の中の日本を学びたい

国際日本学部 国際日本学科

[2019年4月新設]

日本の、その先へ

留学生と学ぶ！ 英語で学ぶ！
日本を学ぶ！



東京外国語大学では、いずれの学部に入学者も、まずは「世界教養プログラム」を履修して、専攻する言語とグローバル化時代に一市民・一職業人として生きる上で必要となる基礎的な教養を身につけていきます。

PICK UP
授業

世界教養プログラム (全学部共通)

社会協働

「インバウンド推進・地域活性化のためのスタディツアー」

吉田 ゆり子 教授、篠原 琢 教授、小田原 琳 准教授、
上原 こずえ 講師、古川 高子 助教

日本の現状と問題点を、具体的な地域(山形県)を対象とし、自らの体験を通して具体的に認識します。日本社会が構造的に抱える問題を解決していくための道筋を考え、日本、そして世界の将来を担うという意識を持った人材を育成します。地域社会に暮らす住民の方々との対話を通して、地域の持続可能性にとって有意義なインバウンド推進の方向性を探り、実現することを目指します。

国際社会と地域

「ダイナミック・アジア」

多様な観点から平和と紛争を考える」

福田 彩 助教

紛争経験国のアジアの大学とビデオ会議システムでつながり、自国にいながらにしてアジアの紛争の現実と平和構築・紛争予防の基礎を学びます。海外の教員と質疑やディスカッションを行う時間も豊富に設け、英語での議論も経験します。異文化コミュニケーションについても学び、国境を超えて意見交換し、さまざまな課題、とりわけ平和と紛争に関して多様な視点からの理解を促進することを目指します。

多様な言語と文化を深く学び、世界の架け橋となる

学びの特長

1. 世界のさまざまな地域の言語や文化の学習に重点
2. 入学時に選択した言語や英語、その他の外国語を多様に組み合わせ、4年間を通じて高いレベルで習得
3. 専門教育により、言語や文化を中心とする人間の営みを読み解く力を育成

養成する人材像

世界のさまざまな地域の言語と文化に精通し、言語や文化の壁を越えたコミュニケーション能力とコーディネーション能力を備え、国内外において言語間・文化間の架け橋となり、新たな価値観の創成に寄与する人材

専門課程（コース） ※第3年次より専門課程に進み、指導教員を選んで、専攻的に学ぶ分野を決めます。

地域コース

北西ヨーロッパ/北アメリカ、中央ヨーロッパ、西南ヨーロッパ、イベリア/ラテンアメリカ、ロシア、中央アジア、東アジア、東南アジア、南アジア、中東という世界の10の地域について、言語学、文学、思想、宗教など学問分野を横断し、複数の視点から学びます。特定の分野のみにフォーカスするのではなく、地域に共存する多様な言語、文学、文化を広く学びその地域に対する深い知見を蓄えることによって、異なる文化を理解し、新しい可能性を開拓する力を磨きます。



南アジア文化研究
「ベンガル語圏の文学と文化」 丹羽 京子 准教授

ノーベル賞詩人タゴールを擁するベンガル文学を、そのタゴールから現代まで概観し、特質を探る授業です。ベンガル語圏は現在ではインドとバングラデシュに二分されており、それぞれが異なる歴史的経緯をめぐって形成されたのみならず、西側がヒンドゥー文化、東側がイスラム文化を背景にしていることから、まれにみる多様性と多層性をもっています。授業では、朗読や歌、または映画なども取り入れて、多角的に文学を捉える試みがなされています。

超域コース

言語学・言語情報処理学(言語学、音声学など)、言語教育学(英語教育学など)、通訳・翻訳(通訳・翻訳論、多言語・多文化社会論など)、文学・文化理論(文学、思想、文化人類学、宗教学など)、人間科学(心理学など)の5つの学問分野のなかから1つを選び、専攻する地域を超え、広く言語と文化を中心とする人間の営みを専門的に学びます。専攻する言語と地域を常に視野に入れながら1つの学問分野を専門的に学ぶことで、世界のさまざまな地域の現実に根ざした、豊かな教養を身につけます。



多言語・多文化社会実践概論
「コミュニティ通訳概論」 内藤 稔 講師

多言語・多文化が進む日本社会においてニーズが高まるコミュニティ通訳について理解を深めます。コミュニティ通訳は外国人が地域での日々の暮らしの中で直面するさまざまな課題の解決にあたり、支援する役割を担っています。通訳の歴史や訓練法などについて学びながら、コミュニティ通訳の専門領域である相談、司法、医療、行政、教育などの現場における事例をもとに、その社会的な役割や求められる専門性について考察を深めていきます。

募集人員

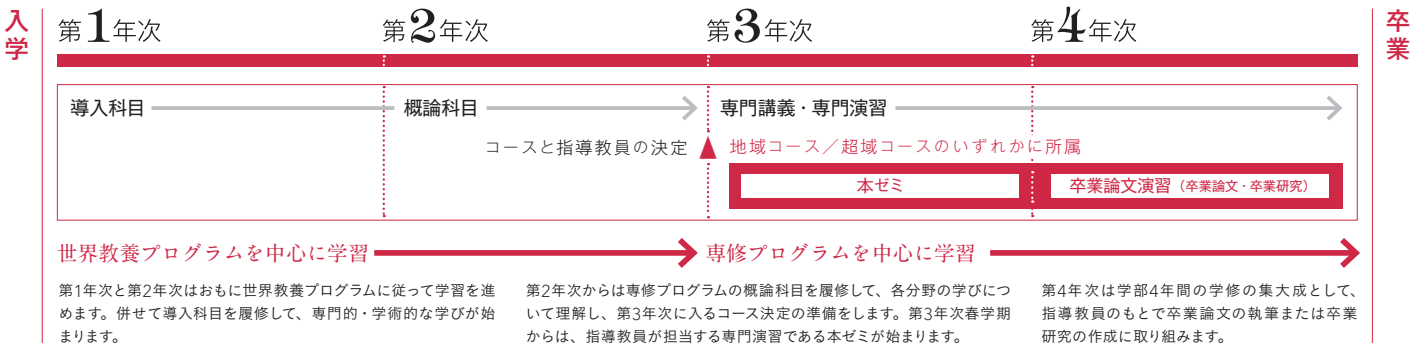
募集単位 (専攻言語)	前期 日程	推薦	入学後の 専攻地域
英語	36人	5人	北西ヨーロッパ/ 北アメリカ
ドイツ語	22人	3人	中央ヨーロッパ
ポーランド語 チェコ語	12人	2人	
フランス語	22人	3人	西南ヨーロッパ
イタリア語	12人	2人	
スペイン語	25人	3人	イベリア/ ラテンアメリカ
ポルトガル語	11人	2人	イベリア/ ラテンアメリカ
ロシア語	21人	3人	ロシア
ロシア語及びウズベク語 モンゴル語	9人	2人	中央アジア
中国語	23人	3人	東アジア
朝鮮語	12人	2人	
インドネシア語 マレーシア語 フィリピン語	19人	3人	東南アジア
タイ語 ラオス語 ベトナム語 カンボジア語 ビルマ語	23人	5人	
ウルドゥー語 ヒンディー語 ベンガル語	19人	3人	
アラビア語 ペルシア語 トルコ語	24人	4人	
計	290人	45人	

丹羽 京子 准教授



内藤 稔 講師

言語文化学部の履修イメージ



グローバルな視点で問題を考え、解決できる実践的な能力を備える

School of International and Area Studies
国際社会学部

国際関係コース
現代世界論コース
地域社会研究コース

学びの特長

1. 英語をはじめとする地域言語の運用能力を身につける
2. 世界諸地域の政治・経済・社会の現状とその歴史的背景を学ぶ
3. 紛争・災害・貧困・難民等、現代世界が直面する諸問題を社会科学的手法で分析する方法を学ぶ

養成する人材像

世界諸地域の複雑な仕組みを把握し、分析するリサーチ能力と、グローバルな視点から問題を解決する実践的な能力を備え、国内外において、社会・政治・経済等の領域で活躍できる人材

専門課程（コース） ※第2年次の後半より専門課程に進み、指導教員を選んで、専門的に学ぶ分野を決めます。

地域社会研究コース

特定の「地域」に焦点をあてて、その地域の中で行われている社会的な営みを明らかにします。地域が歴史的にどのように形成されてきたかを解明し、社会の構造を総合的・構造的にとらえ、地域の外にある世界との関係も明らかにしていきます。

PICK UP 授業 ヨーロッパ地域研究
「イタリア近現代史」 小田原 琳 准教授

この授業で主に取り上げる地域はイタリアです。ジェンダー、レイシズム、戦争や植民地主義など、多くの地域が共通して抱える課題のイタリアにおける現れを検討しながら、我々は何をイタリアと呼んでいるのかを考えます。ひとつの地域を深く学ぶことを通じて、複雑なものを複雑なまま受け取り、考えぬく態度を養い、グローバル世界に向き合う肝を鍛えましょう。

現代世界論コース

新しい形態の戦争やテロリズムや地球規模の自然破壊など、現代世界に生起する問題を提示し、既存の学問分野の限界と問題解明の切り口を示すという形で学んでいきます。常識や通念に制約されない柔軟な思考や判断力と、実践し行動する能力を養うことを目指します。

PICK UP 授業 哲学・社会思想
「歴史にとって記憶の問題とは何か」 岩崎 稔 教授

1990年代初頭からの歳月は、集合的記憶として構築された国民の物語が揺らぎ、そこから消去されてきていた「敗者」の記憶をめぐる論争の局面が、世界の地域で生みだされた時代でもありました。講義では、歴史叙述の倫理性や集合的記憶の動態というアポリア（難問）を主題的に考察し、哲学や思想史だけでなく、それにかかわる精神分析、文学作品、映像メディアなども含めた広い視野から、問題を整理しつつ掘り下げていきます。

国際関係コース

本コースでは、領土紛争、宗教や資源をめぐる摩擦、そして貧困や差別、国際テロの脅威などの国際社会の現実をさまざまな角度から社会科学的手法を用いて理論的・歴史的・実証的立場から理解していくと同時に、政策志向的に考えていきます。

PICK UP 授業 平和・紛争論
「国際協力と紛争解決論」 篠田 英朗 教授

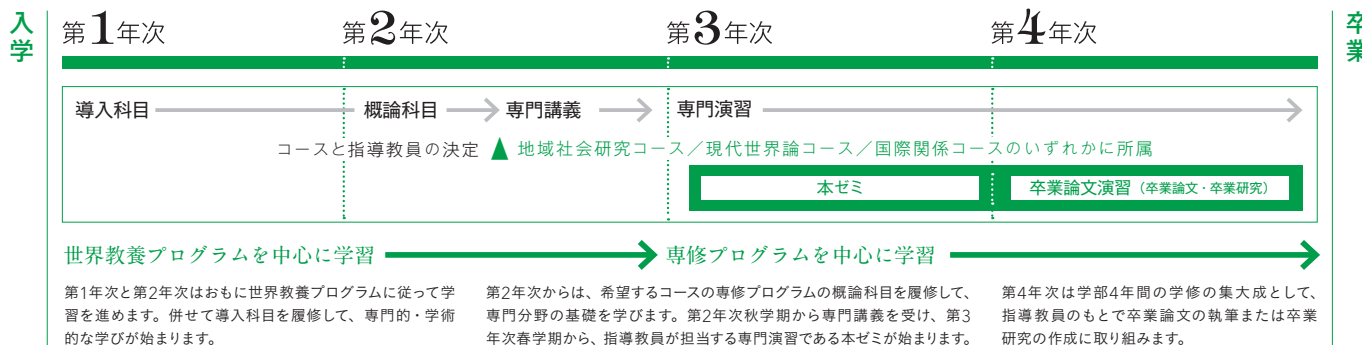
人間が生きていく限り、日常生活において紛争からは逃れられず、必要なのは紛争がない世界を夢見る事ではなく、紛争に対処する技能を高め、準備を整えておくことだ、という認識から出発します。国際的紛争の傾向や対応する政策、現代世界の地域紛争の事例や日本の紛争の歴史の捉え方まで扱います。国際紛争を分析することによって、自分自身の生き方の改善を図っていくという視点を養います。

募集人員

募集単位 (専攻地域)	前期日程	後期日程	推薦	入学後の専攻言語
北西ヨーロッパ/北アメリカ	20人	5人	2人	英語 ドイツ語
中央ヨーロッパ	28人	6人	2人	ポーランド語 チェコ語
西南ヨーロッパ	27人	8人	2人	フランス語 イタリア語
イベリア/ラテンアメリカ	29人	7人	3人	スペイン語 ポルトガル語
ロシア	17人			ロシア語
中央アジア	13人	3人	2人	ロシア語及びウズベク語 モンゴル語
東アジア	30人	7人	3人	中国語 朝鮮語
東南アジア第1	15人	4人	2人	インドネシア語 マレーシア語 フィリピン語
東南アジア第2	22人	4人	2人	タイ語 ラオス語 ベトナム語 カンボジア語 ビルマ語
南アジア	15人	4人	2人	ウルドゥー語 ヒンディー語 ベンガル語
中東	19人	5人	2人	アラビア語 ペルシア語 トルコ語
アフリカ	10人	3人	2人	英語
オセアニア	9人	—	1人	英語
計	254人	56人	25人	



国際社会学部の履修イメージ



留学生と学ぶ、英語で学ぶ、日本を学ぶ

学びの特長

1. 日本そのものをフィールドとして分野を超えた多角的な視点で日本を捉え直す
2. 英語と日本語をコミュニケーションツールとして用いる
3. 自律性を涵養し、留学生との協働による課題解決型のアクティブ・ラーニング

養成する人材像

国際的な視野から日本を総合的に学び、世界に向けて日本を発信する力や、多文化化する日本の問題解決に資する知識や協働力を備えた人材

4年間の学び

国際日本学部は、日本人学生と世界各地からの留学生と一緒に学ぶ学部です。バックグラウンドの異なる学生が学びの空間を共有し、未来に向かって歩んでいきます。共通言語は、英語と日本語。それぞれの運用能力を高めながら、日本を、総合的に学びます。また、充実した短期留学プログラムや長期留学プログラムにより、学びの場は海外にもつながります。

【第1年次】 協働実践科目のうち、「多文化コラボレーション」科目は全員が履修し、日本人と留学生が協働して問題を発見し解決する手法を学びます。導入科目では、英語で日本の社会、歴史、文学・文化、言語を学びます。また、言語科目で英語力・日本語力を向上させます。さらに、3学部共通の世界教養プログラムの教養科目の幅広い選択肢のなかから、興味のあるトピックスを選んで学習します。特に「教養日本力科目」では、世界各地の協定校からの交換留学生とともに、日本について学びます。

【第2年次】 同じく協働実践科目のうち、「地域社会フィールドワーク」や「社会発信型プロジェクトワーク」、「教育支援フィールドワーク」で協働活動を進めます。教室の外での活動も広がります。概論科目で日本についての知識を深めます。また、引き続き英語・日本語を磨きます。その一方で、3学部共通の世界教養プログラムの言語科目（「世界言語科目」、「教養外国語科目」、「諸地域言語科目」）で、日本語・英語以外の外国語にも触れましょう。

【第3年次】 多くの学生が、留学や海外でのインターンシップなどに参加します。学習の場は世界に広がります。専門科目では講義科目と演習科目を履修します。特に注目される科目は、「異分野横断研究」と「異分野横断演習」。前者は、国際日本の諸分野をリレー講義により学びます。後者では、日本人学生と留学生がチームを組み、身近な問題の解決に取り組みます。

【第4年次】 指導教員のもとで卒業研究を行います。英語で執筆する場合には日本語で長文要旨を、日本語の場合には英語で長文要旨を作成し、2言語で研究成果をまとめます。

募集人員

一般入試 (前期日程)	推薦入試	帰国生等 特別推薦 入試	留学生を対象とする入試	
			日本留学試験 利用入試	海外高校 推薦入試
35人	10人	若干名	20人	10人

PICK UP
授業

「多文化コラボレーション」

日本人学生と留学生が協働で地域の魅力を発見し、発信する授業です。母語を含めバックグラウンドが異なる多文化チームが自分たちで設定したテーマに沿って、英語と日本語を交えてグループワークを行います。現地調査や専門家へインタビューした内容をふまえて紹介記事を書いたり、ミニ番組を制作したりします。多言語多文化共生力や行動力・発信力を身につけることを目指します。

PICK UP
授業

「社会発信型プロジェクトワーク」

日本人学生と留学生からなる数名のチームが協働して活動し、課題の掘り下げや調査分析、解決への道筋を探るための研究会やシンポジウム等の企画・運営などの活動を行います。その成果は、インターネット・コンテンツなどで効果的に発信します。社会に向けて日本を発信したり、共生社会を作り出す上での課題やその解決のための方策を見つけ出したりする能力を身につけることを目指します。

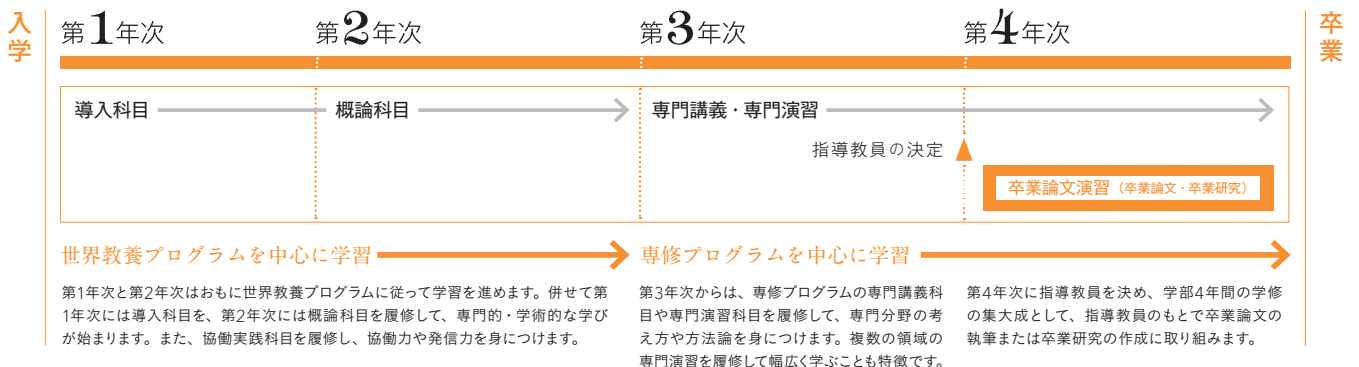
PICK UP
授業

「教育支援フィールドワーク」

日本語教育の現状と日本語教育の方法論の基礎を学び、国内の日本語教育機関で日本語教育の補助を行い、実際の教育現場を体験する授業です。活動の成果をクラスで報告し、活動の振り返りと総括を行います。グループ学習の教育を海外でも行ってきた教員が指導し、授業は主に英語で行います。日本語教育のスキルを身につけると同時に、キャリア形成意識の向上を目指します。



国際日本学部の履修イメージ



入試情報 2020

各入学試験について

※本学は2019年4月に、国際日本学部の新設と、言語文化学部及び国際社会学部の改組を行いました。

入試区分	実施学部	概要	出願日程	募集要項公表時期
一般入試 (前期日程)	言語文化学部 国際社会学部	大学入試センター試験と本学学力検査「外国語」「地理歴史（世界史または日本史）」の成績で評価します。	1月下旬～ 2月上旬	11月下旬
	国際日本学部	大学入試センター試験と本学学力検査「外国語」「外国語（英語スピーキング）」「地理歴史（世界史または日本史）」の成績で評価します。	1月下旬～ 2月上旬	11月下旬
一般入試 (後期日程)	国際社会学部	大学入試センター試験と本学学力検査「外国語」の成績で評価します。	1月下旬～ 2月上旬	11月下旬
推薦入試	言語文化学部 国際社会学部 国際日本学部	出身学校長の推薦に基づき、大学入試センター試験及び本学学力検査等を免除して、英語外部試験スコア等の出願書類、小論文及び面接により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に判定して合格者を決定します。	11月初旬	8月上旬
帰国生等 特別推薦入試	言語文化学部 国際社会学部 国際日本学部	外国の教育制度に基づく教育機関（国内の国際バカロレア（DP）認定校を含む）において、中等教育を受けた者を対象に、外国における教育事情の違いに配慮し、英語外部試験スコア等の出願書類、小論文及び面接により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に判定して合格者を決定します。	11月初旬	8月上旬

この他、留学生を対象として、「私費外国人留学生入試（言語文化学部/国際社会学部）」「日本留学試験利用入試（国際日本学部）」「海外高校推薦入試（国際日本学部）」が実施されます。

※未定のは、決まり次第本学ホームページ「受験生ナビ Hello! TUFS」にて公表します。

受験生向けWebサイト

受験生ナビ **Hello! TUFS** で最新情報をチェック!

<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/>

入学試験情報のほかに、各学部の学び、専攻言語・地域の概要、留学や就職活動のサポート体制、キャンパスライフ、オープンキャンパス・体験授業など、さまざまな情報を掲載しています。



国立大学法人 東京外国語大学

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

<http://www.tufs.ac.jp>

入試に関するお問い合わせ先

Tel 042-330-5179

イベント・その他のお問い合わせ先

Tel 042-330-5158

2019年度オープンキャンパス 7月20日(土)

第97回外語祭 11月20日(水)～24日(日)

体験授業

【東京】6月15日(土)、9月下旬、11月14日(木)

【名古屋/福岡】6月23日(日)